

心ときめく 装飾美

令和6年1月20日発行（毎月1回20日発行）
第43巻第1号通巻504号
昭和57年8月9日第三種郵便物認可

美術の窓

1

January
2024
No.484

THE WINDOW OF ARTS

装飾美

心ときめく

日本人と装飾
玉蟲敏子

装飾は生命力の源
鶴岡真弓

キラキラ画材
描き比べ

技法講座 東西の伝統技法に学ぶ神秘的なマチエール〈後編〉藤島大千 公募展便り 立軌展・都展・日展
太陽美術展・新芸術展・JAG展・中美展・現代童画展・群炎展・清興展・日本版画会展・近代日本美術協会展・日輝展・現創展

湘南国際芸術祭 宮田亮平×神戸峰男らトークセッション開催



トークセッションの様子。右から宮田亮平、神戸峰男、黒岩祐治、鈴木寛。
宮田亮平の奥に見えるのは、この日のために制作された新作「シュプリングン Fuji」。



神戸峰男「徳川家康騎馬像」(中央)



宮田亮平「シュプリングン 月光」

上下:リビエラ逗子マリナーナ内リビエラプラザにて行われた特別企画展の様子

湘南国際芸術祭

11月10日(金)~11月12日(日)
会場 リビエラ逗子マリナーナ 他
主催 湘南国際芸術祭実行委員会

神奈川県三浦から湯河原にかけて相模湾を囲む湘南コースト。この一帯を「富士山を望む海のあるまち」として広域な地域活性化とブルーエコノミーの推進を目的にした「湘南国際芸術祭」が、リビエラ逗子マリナーナにて開催された。

初日の11月10日(金)には、海を臨む会場にてフォーラムが開かれた。第一部は宮田亮平(工芸家、文化功労者、日本藝術院会員、日展理事長)の基調講演「芸術は身近なもの」、第二部では湘南の海や湘南から見える富士山の美しさ、本芸術祭の意義などを語るトークセッションが行われた。登壇者は宮田亮平、神

戸峰男(彫刻家、日本藝術院会員、日展副理事長・事務局長)、黒岩祐治(神奈川県知事)の他、宮田の声かけで飛び入り参加した鈴木寛(東京大学教授、元文部科学副大臣)。話題は子どもたちへの美術教育にまで及び、芸術家として様々な教育現場へ赴く神戸や東京藝術大学で長く教鞭をとってきた宮田の題点も挙げられた。会場に集まった参加者は熱心に耳を傾けていた。

別会場では、神戸峰男「徳川家康騎馬像」を含む全11点の彫刻作品、宮田亮平の新作「シュプリングン 月光」などが展示された。(編集部)